

特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際調査機関）

代理人 稲本 義雄	様
あて名 〒160-0023 日本国東京都新宿区西新宿7丁目11番18号 7 11ビルディング4階	

REC'D 02 FEB 2006
WIPO PCT

PCT
国際調査機関の見解書
(法施行規則第40条の2)
[PCT規則43の2.1]

発送日 (日.月.年)	31.01.2006
----------------	------------

出願人又は代理人 の書類記号 612-S05P1497	今後の手続きについては、下記2を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2005/019106	国際出願日 (日.月.年) 18.10.2005	優先日 (日.月.年) 25.11.2004
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H04N5/232(2006.01), H04N5/235(2006.01), H04N5/335(2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) ソニー株式会社		

1. この見解書は次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 見解の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☒ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
- ☒ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日 18.01.2006		
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 益戸 宏 電話番号 03-3581-1101 内線 3581	5 P 9380

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2005年4月)

第 I 欄 見解の基礎

1. 言語に関し、この見解書は以下のものに基づき作成した。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から国際調査のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
(PCT規則12.3(a)及び23.1(b))

2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき見解書を作成した。

- a. タイプ ☐ 配列表
☐ 配列表に関連するテーブル
- b. フォーマット ☐ 紙形式
☐ 電子形式
- c. 提出時期 ☐ 出願時の国際出願に含まれていたもの
☐ この国際出願と共に電子形式により提出されたもの
☐ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出されたもの

3. ☐ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

4. 補足意見：

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 17, 18

理由：

☐ この国際出願又は請求の範囲 _____ は国際調査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☐ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 _____ の記載が不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 _____ が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☒ 請求の範囲 17, 18 _____ について、国際調査報告が作成されていない。

☐ 入手可能な配列表が存在せず、有意義な見解を示すことができなかった。
出願人は所定の期間内に、

☐ 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす紙形式の配列表を提出しなかったため、国際調査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす電子形式の配列表を提出しなかったため、国際調査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ PCT規則13の3.1(a)又は(b)に基づく命令に応じた、要求された配列表の遅延提出手数料を支払わなかった。

☐ 入手可能な配列表に関連するテーブルが存在しないため、有意義な見解を示すことができなかった。すなわち、出願人が、所定の期間内に、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たす電子形式のテーブルを提出しなかったため、国際調査機関は、認められた形式及び方法でテーブルを入手することができなかった。

☐ スクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが電子形式のみで提出された場合において、当該テーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第IV欄 発明の単一性の欠如

1. ☒ 追加手数料の納付命令書（様式PCT/ISA/206）に対して、出願人は、規定期間内に、
- ☒ 追加手数料を納付した。
- ☐ 追加手数料及び、該当する場合には、異議申立手数料の納付と共に、異議を申し立てた。
- ☐ 追加手数料の納付と共に異議を申し立てたが、規定の異議申立手数料を支払わなかった。
- ☐ 追加手数料を納付しなかった。
2. ☐ 国際調査機関は、発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。
3. 国際調査機関は、PCT規則13.1、13.2及び13.3に規定する発明の単一性を次のように判断する。

☐ 満足する。

☒ 以下の理由により満足しない。

請求の範囲1-4、19、20を「最初に記載されている発明（「主発明」）」として調査を行った結果、主発明の技術的特徴は、先行技術として、文献JP 9-261526 A、1997. 10. 03に開示されているから、新規でないことが明らかとなった。

したがって、主発明の技術的特徴は、PCT規則13.2の第2文の意味において「特別な技術的特徴」とは認められない。

そして、請求の範囲5-10（第2発明）と上記先行技術とを比較する限りにおいて、第2発明の「（当座の）特別な技術的特徴」は、「第2の判定ステップ」である。

一方、請求の範囲11-16（第3発明）と上記先行技術とを比較する限りにおいて、第3発明の「（当座の）特別な技術的特徴」は、「出力画像の画素の位置ごとに、その画素の位置の画素値の推定に用いる前記複数枚の入力画像の画素を特定し、特定された前記複数枚の入力画像の画素の画素値に基づき、前記出力画像の各画素の位置の画素値を推定すること」である。

また、請求の範囲17（第4発明）と上記先行技術とを比較する限りにおいて、第4発明の「（当座の）特別な技術的特徴」は、「前記第2の露出時間が、被写体の明るさから求められる適正露出時間に基づく閾値以上であるか否かを判定する判定ステップ」である。

さらに、請求の範囲18（第5発明）と上記先行技術とを比較する限りにおいて、第5発明の「（当座の）特別な技術的特徴」は、「前記第2の露出時間が、前記撮影装置での最速の連続撮影時の撮影間隔に基づく閾値以上であるか否かを判定する判定ステップ」である。

これら第2発明～第5発明の間に、一又は二以上の同一又は対応する特別な技術的特徴を含む技術的な関係が存在するとは認められない。

4. したがって、国際出願の次の部分について、この見解書を作成した。

☐ すべての部分

☒ 請求の範囲 1-16, 19, 20 に関する部分

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	5-16, 19, 20	有
	請求の範囲	1-4	無
進歩性 (IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1-16, 19, 20	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-16, 19, 20	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明

- 文献1 JP 9-261526 A (オリンパス光学工業株式会社)
1997.10.03,
全文全図
- 文献2 JP 2000-69352 A (コニカ株式会社)
2000.03.03,
段落【0021】、【0026】
- 文献3 JP 2863188 B2 (松下電器産業株式会社)
1998.12.11,
第9欄第1-42行
- 文献4 JP 2942359 B2 (マンネスマン・アクチエンゲゼルシャフト)
1999.06.18,
第2欄第26-第4欄第23行
- 文献5 JP 5-167976 A (京セラ株式会社)
1993.07.02,
段落【0009】
- 文献6 JP 2004-234623 A (セイコーエプソン株式会社)
2004.08.19,
段落【0033】、【0035】、【0063】、【0064】、
【0071】-【0075】、【0084】、第3-12, 17, 18図

<<請求の範囲1-4>>

請求の範囲1-4に係る発明は、文献1に記載されているので新規性、進歩性を有しない。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

<<請求の範囲 5-7, 9, 10>>

文献2の段落【0021】には、連写により得られた複数の画像を合成するものにおいて、連写時のシャッタ速度を、手振れ限界値より短く、かつ、画像にノイズが増えない程度の値に設定する発明が記載されている。

また、一般に、露出時間を、測光値と、センサの感度と、所要の信号／ノイズ比と、から決定される最短露出時間や、固体撮像素子の読み出し時間以上に設定する必要があることは技術常識である（例えば、文献3の第9欄第1-42行、文献4の第2欄第26-第4欄第23行、文献5の段落番号【0009】等参照）。

文献1記載の発明に文献2記載の上記発明を採用し、連写時の露出時間を、手振れ限界値より短く、かつ、画像にノイズが増えない程度の値に設定するよう構成することに格別の困難は認められず、その際、上記の技術常識を考慮し、その露出時間が、測光値と、センサの感度と、所要の信号／ノイズ比と、から決定される最短露出時間や、固体撮像素子の読み出し時間以上となるよう構成することは当業者が容易に想到し得たことである

したがって請求の範囲 5-7, 9, 10に係る発明は、進歩性を有しない。

<<請求の範囲 8>>

文献1記載の発明に文献2記載の上記発明及び上記技術常識を採用する際、何らかの理由で、連写時の露出時間を、測光値と、センサの感度と、所要の信号／ノイズ比と、から決定される最短露出時間や、固体撮像素子の読み出し時間以上に設定できなければ、連写を正常に行えないのだから、その際には連写を行わないようにすることは当業者が容易に想到し得たことである。

したがって、請求の範囲 8に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 11>>

文献6の特に段落【0033】、【0035】、【0063】、【0064】、【0071】-【0075】、【0084】、第3-12、17、18図には、連写により得られた複数の撮影画像を合成するものにおいて、出力画像の画素位置毎に、その画素位置から所定の距離範囲内に位置する画素を特定し、特定された画素の画素値に基づき、出力画像の画素位置の画素値を推定するよう構成する発明が記載されている。

文献1記載の発明に文献6記載の上記発明を採用することに格別の困難は認められないから、請求の範囲 11に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 12>>

文献1の段落【0061】には、1枚目の画像を基準にするのは1例である旨記載されており、また、文献6の段落【0033】、【0035】には、どれを参照フレームとしても良い旨記載されているから、文献1記載の発明において、中間時点近傍の画像を基準とすることは単なる設計事項にすぎない。

したがって、請求の範囲 12に係る発明は進歩性を有しない。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

<<請求の範囲 1 3>>

文献 2 の段落【0026】には、連写により得られた複数の撮影画像を合成するものにおいて、複数画像の全て重なった部分をトリミングすることが記載されており、これを文献 1 記載の発明に採用することに格別の困難は認められないから、請求の範囲 1 3 に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 1 4>>

文献 6 の段落【0064】には、出力画像の画素数を任意に設定する構成が記載されており、これを文献 1 記載の発明に採用することに格別の困難は認められないから、請求の範囲 1 4 に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 1 5>>

文献 1 記載の発明において、撮像素子を周知のビニング機能で駆動させるよう構成することは単なる設計事項にすぎないから、請求の範囲 1 5 に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 1 6>>

一般に、単板式撮像素子から得られた撮影画像をカラー画像に変換して出力する構成は周知であるから、請求の範囲 1 6 に係る発明は進歩性を有しない。

PATENT COOPERATION TREATY

TRANSLATION

From the
INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

PCT

WRITTEN OPINION OF THE
INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

(PCT Rule 43bis.1)

To:

Date of mailing
(day/month/year)

Applicant's or agent's file reference

612-S05P1497

FOR FURTHER ACTION

See paragraph 2 below

International application No.

PCT/JP2005/019106

International filing date (day/month/year)

18.10.2005

Priority date (day/month/year)

25.11.2004

International Patent Classification (IPC) or both national classification and IPC

Applicant

SONY CORPORATION

1. This opinion contains indications relating to the following items:

- ☒ Box No. I Basis of the opinion
- ☐ Box No. II Priority
- ☒ Box No. III Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability
- ☒ Box No. IV Lack of unity of invention
- ☒ Box No. V Reasoned statement under Rule 43bis.1(a)(i) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement
- ☐ Box No. VI Certain documents cited
- ☐ Box No. VII Certain defects in the international application
- ☐ Box No. VIII Certain observations on the international application

2. **FURTHER ACTION**

If a demand for international preliminary examination is made, this opinion will be considered to be a written opinion of the International Preliminary Examining Authority ("IPEA") except that this does not apply where the applicant chooses an Authority other than this one to be the IPEA and the chosen IPEA has notified the International Bureau under Rule 66.1bis(b) that written opinions of this International Searching Authority will not be so considered.

If this opinion is, as provided above, considered to be a written opinion of the IPEA, the applicant is invited to submit to the IPEA a written reply together, where appropriate, with amendments, before the expiration of 3 months from the date of mailing of Form PCT/ISA/220 or before the expiration of 22 months from the priority date, whichever expires later.

For further options, see Form PCT/ISA/220.

3. For further details, see notes to Form PCT/ISA/220.

Name and mailing address of the ISA/JP

Date of completion of this opinion

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

WRITTEN OPINION OF THE
INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

International application No.

PCT/JP2005/019106

Box No. I

Basis of this opinion

1. With regard to the language, this opinion has been established on the basis of:
 - ☒ the international application in the language in which it was filed
 - ☐ the translation of the international application into _____, which is the language of a translation furnished for the purposes of international search (Rule 12.3(a) and 23.1(b)).
2. With regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application and necessary to the claimed invention, this opinion has been established on the basis of:
 - a. type of material
 - ☐ a sequence listing
 - ☐ table(s) related to the sequence listing
 - b. format of material
 - ☐ on paper
 - ☐ in electronic form
 - c. time of filing/furnishing
 - ☐ contained in the international application as filed
 - ☐ filed together with the international application in electronic form
 - ☐ furnished subsequently to this Authority for the purposes of search
3. ☐ In addition, in the case that more than one version or copy of a sequence listing and/or table(s) relating thereto has been filed or furnished, the required statements that the information in the subsequent or additional copies is identical to that in the application as filed or does not go beyond the application as filed, as appropriate, were furnished.
4. Additional comments:

WRITTEN OPINION OF THE
INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

International application No.

PCT/JP2005/019106

Box No. III Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability

The questions whether the claimed invention appears to be novel, to involve an inventive step (to be non obvious), or to be industrially applicable have not been examined in respect of:

☐ the entire international application

☒ claims Nos. 17, 18

because:

☐ the said international application, or the said claims Nos. _____ relate to the following subject matter which does not require an international search (*specify*):

☐ the description, claims or drawings (*indicate particular elements below*) or said claims Nos. _____ are so unclear that no meaningful opinion could be formed (*specify*):

☐ the claims, or said claims Nos. _____ are so inadequately supported by the description that no meaningful opinion could be formed (*specify*):

☒ no international search report has been established for said claims Nos. 17, 18

☐ a meaningful opinion could not be formed without the sequence listing; the applicant did not, within the prescribed time limit:

☐ furnish a sequence listing on paper complying with the standard provided for in Annex C of the Administrative Instructions, and such listing was not available to the International Searching Authority in a form and manner acceptable to it.

☐ furnish a sequence listing in electronic form complying with the standard provided for in Annex C of the Administrative Instructions, and such listing was not available to the International Searching Authority in a form and manner acceptable to it.

☐ pay the required late furnishing fee for the furnishing of a sequence listing in response to an invitation under Rules 13ter.1(a) or (b).

☐ a meaningful opinion could not be formed without the tables related to the sequence listings; the applicant did not, within the prescribed time limit, furnish such tables in electronic form complying with the technical requirements provided for in Annex C-bis of the Administrative Instructions, and such tables were not available to the International Searching Authority in a form and manner acceptable to it.

☐ the tables related to the nucleotide and/or amino acid sequence listing, if in electronic form only, do not comply with the technical requirements provided for in Annex C-bis of the Administrative Instructions.

☐ See Supplemental Box for further details.

WRITTEN OPINION OF THE
INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

International application No.

PCT/JP2005/019106

Box No. IV Lack of unity of invention

1. ☒ In response to the invitation (Form PCT/ISA/206) to pay additional fees the applicant has, within the applicable time limit:

☒ paid additional fees

☐ paid additional fees under protest and, where applicable, the protest fee

☐ paid additional fees under protest but the applicable protest fee was not paid

☐ not paid additional fees

2. ☐ This Authority found that the requirement of unity of invention is not complied with and chose not to invite the applicant to pay additional fees.

3. This Authority considers that the requirement of unity of invention in accordance with Rules 13.1, 13.2 and 13.3 is

☐ complied with

☒ not complied with for the following reasons:

Searches have been made by deeming claims 1-4, 19 and 20 as the "invention (the 'main invention') described at first". As a result, it is apparent that the technical feature of the main invention is not novel, since it is disclosed in document JP 9-261526 A, 03 October 1997.

Consequently, the technical feature of the main invention is not the "special technical feature" within the meaning of PCT Rule 13.2, second sentence.

So long as claims 5-10 (the second invention) is compared with the aforementioned prior art, moreover, the "(stopgap) special technical feature" of the second invention is the "second decision step".

So long as claims 11-16 (the third invention) is compared with the aforementioned prior art, on the other hand, the "(stopgap) special technical feature" of the third invention is "to specify the pixels of the plural sheets of input images to be used for estimating the pixel values of every positions of the pixels of the output image, thereby to estimate the pixel values at the positions of the individual pixels of the output image on the basis of the pixel values of the pixels of the plural sheets of the input images".

So long as claim 17 (the fourth invention) is compared with the aforementioned prior art, moreover, the "(stopgap) special technical feature" of the fourth invention is the "decision step of deciding whether or not the second exposure time is at or more than the threshold value based on the proper exposure time determined from the brightness of the object".

So long as claim 18 (the fifth invention) is compared with the aforementioned prior art, moreover, the "(stopgap) special technical feature" of the fifth invention is the "decision step of deciding whether or not the second exposure time is at or more than the threshold value based on the photographic interval of the fastest sequential photographing time in the photographic device".

It is not accepted that the second invention to fifth invention are so technically related as to involve one or two or more of the same or corresponding special technical features:

4. Consequently, this opinion has been established in respect of the following parts of the international application:

☐ all parts

☒ the parts relating to claims Nos. 1-16, 19, 20

WRITTEN OPINION OF THE
INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

International application No.
PCT/JP2005/019106

Box No. V	Reasoned statement under Rule 43bis.1(a)(i) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement		
1. Statement			
Novelty (N)	Claims	5-16, 19, 20	YES
	Claims	1-4	NO
Inventive step (IS)	Claims		YES
	Claims	1-16, 19, 20	NO
Industrial applicability (IA)	Claims	1-16, 19, 20	YES
	Claims		NO
2. Citations and explanations:			
Document 1:	JP 9-261526 A (Olympus Optical Co., Ltd.), 03 October 1997, Full text; all drawings		
Document 2:	JP 2000-69352 A (Konica Corp.), 03 March 2000, paragraphs 0021, 0026		
Document 3:	JP 2863188 B2 (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 11 December 1998, column 9, lines 1 to 42		
Document 4:	JP 2942359 B2 (Mannesmann AG.), 18 June 1999, column 2, line 26 to column 4, line 23 & EP 759250 A & WO 1995/031066 A1		
Document 5:	JP 5-167976 A (Kyocera Corp.), 02 July 1993, paragraphs 0009		
Document 6:	JP 2004-234623 A (Seiko Epson Corp.), 19 August 2004, paragraphs 0033, 0035, 0063, 0064, 0071 to 0075, 0084; Figs. 3 to 12, 17, 18		
Claims 1-4			
The inventions of claims 1-4 are described in document 1 cited in the ISR, and therefore, they do not appear to possess novelty or to involve an inventive step.			

Supplemental Box

In case the space in any of the preceding boxes is not sufficient.

Continuation of: BOX V

Claims 5-7, 9 and 10

Document 2 (paragraph 0021) describes an invention of an image pickup device for compounding plural images obtained by continuous shooting, wherein the shutter speed during continuous shooting is set to a value not increasing image noise and smaller than a shake limit value.

It is a common general technical knowledge that exposure time must be ordinarily set to be equal to or longer than a shortest exposure time decided on the basis of photometric values, sensor sensitivity, and a desired signal/noise ratio, and/or to be equal to or longer than the reading time of a solid imaging element (see, for instance, document 3, column 9, lines 1 to 42; document 4, column 2, line 26 to column 4, line 23; and document 5, paragraph 0009).

A person skilled in the art could easily conceive of applying the invention described in document 2 to the invention described in document 1, as no particular difficulty can be discerned in setting the shutter speed during continuous shooting to a value not increasing image noise and smaller than a shake limit value, or in exposure time being equal to or longer than a shortest exposure time decided on the basis of photometric values, sensor sensitivity, and desired signal/noise ratio, and/or being equal to or longer than the reading time of a solid imaging element.

Accordingly, the inventions of claims 5-7, 9 and 10 do not appear to involve an inventive step.

Claim 8

Upon application in the invention described in document 1 of the above common general technical knowledge and of the invention described in document 2, if for some reason it were impossible to set the exposure time to be equal to or longer than a shortest exposure time decided on the basis of photometric values, sensor sensitivity, and desired signal/noise ratio, and/or to be equal to or longer than the reading time of a solid imaging element, as a result of which continuous shooting could not be carried out normally, a person skilled in the art could easily conceive of not carrying out continuous shooting.

Accordingly, the invention of claim 8 does not appear to involve an inventive step.

Claim 11

Document 6 (in particular, paragraphs 0033, 0035, 0063, 0064, 0071 to 0075, 0084; Figs. 3 to 12, 17, 18) describes an invention relating to compounding of plural photographic images obtained through continuous shooting, for each pixel position of an output image, there being specified a pixel positioned within a predetermined distance from that pixel position, wherein a pixel value of the pixel position of the output image is estimated on the basis of a pixel value of the specified pixel.

No particular difficulty can be discerned in applying to the invention described in document 1 the invention described in document 6, and hence the invention of claim 11 does not appear to involve an inventive step.

Claim 12

Document 1 (paragraph 0061) describes one example in which a first image sheet is taken as a reference. Also, document 6 (paragraphs 0033, 0035) describes that any frame may be taken as a reference frame. Accordingly, taking as a reference an image in the vicinity of an intermediate point in time is merely a matter of design variation.

Accordingly, the invention of claim 12 does not appear to involve an inventive step

Supplemental Box

Box V

Claim 13

Document 2 (paragraph 0026) describes compounding of plural photographic images obtained through continuous shooting, such that a portion where all the plural images overlap is trimmed. Herein, no particular difficulty can be discerned in employing this feature to the invention described in document 1, and hence the invention of claim 13 does not appear to involve an inventive step.

Claim 14

Document 6 (paragraph 0064) describes setting an arbitrary number of pixels of an output image. Herein, no particular difficulty can be discerned in employing this feature to the invention described in document 1, and hence the invention of claim 14 does not appear to involve an inventive step.

Claim 15

In the invention described in document 1, driving an output image using a well-known binning function is merely a matter of design variation, and hence the invention of claim 15 does not appear to involve an inventive step.

Claim 16

Converting a photographic image obtained from a single plate-type imaging element into a color image, and outputting the color image, is a well-known feature, and hence the invention of claim 16 does not appear to involve an inventive step.

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

代理人 稲本 義雄	様
あて名 〒160-0023 日本国東京都新宿区西新宿7丁目11番18号 7 11ビルディング4階	

REC'D 02 FEB 2006
WIPO PCT

PCT
国際調査機関の見解書
(法施行規則第40条の2)
[PCT規則43の2.1]

発送日 (日.月.年)	31.01.2006
今後の手続きについては、下記2を参照すること。	

出願人又は代理人 の書類記号 612-S05P1497			
国際出願番号 PCT/JP2005/019106	国際出願日 (日.月.年) 18.10.2005	優先日 (日.月.年) 25.11.2004	
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H04N5/232(2006.01), H04N5/235(2006.01), H04N5/335(2006.01)			
出願人 (氏名又は名称) ソニー株式会社			

<p>1. この見解書は次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 見解の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第II欄 優先権</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見</p> <p>2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。</p> <p>この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。</p> <p>さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。</p> <p>3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。</p>
--

見解書を作成した日 18.01.2006		
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 益戸 宏 電話番号 03-3581-1101 内線 3581	5P 9380

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2005年4月)

第 I 欄 見解の基礎

1. 言語に関し、この見解書は以下のものに基づき作成した。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から国際調査のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
(PCT規則12.3(a)及び23.1(b))

2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、
以下に基づき見解書を作成した。

- a. タイプ ☐ 配列表
☐ 配列表に関連するテーブル
- b. フォーマット ☐ 紙形式
☐ 電子形式
- c. 提出時期 ☐ 出願時の国際出願に含まれていたもの
☐ この国際出願と共に電子形式により提出されたもの
☐ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出されたもの

3. ☐ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

4. 補足意見：

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 17, 18

理由：

☐ この国際出願又は請求の範囲 _____ は国際調査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☐ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 _____ の記載が不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 _____ が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☒ 請求の範囲 17, 18 _____ について、国際調査報告が作成されていない。

☐ 入手可能な配列表が存在せず、有意義な見解を示すことができなかった。
出願人は所定の期間内に、

☐ 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす紙形式の配列表を提出しなかったため、国際調査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす電子形式の配列表を提出しなかったため、国際調査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ PCT規則13の3.1(a)又は(b)に基づく命令に応じた、要求された配列表の遅延提出手数料を支払わなかった。

☐ 入手可能な配列表に関連するテーブルが存在しないため、有意義な見解を示すことができなかった。すなわち、出願人が、所定の期間内に、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たす電子形式のテーブルを提出しなかったため、国際調査機関は、認められた形式及び方法でテーブルを入手することができなかった。

☐ スクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが電子形式のみで提出された場合において、当該テーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第IV欄 発明の単一性の欠如

1. ☒ 追加手数料の納付命令書（様式PCT/ISA/206）に対して、出願人は、規定期間内に、
- ☒ 追加手数料を納付した。
 - ☐ 追加手数料及び、該当する場合には、異議申立手数料の納付と共に、異議を申し立てた。
 - ☐ 追加手数料の納付と共に異議を申し立てたが、規定の異議申立手数料を支払わなかった。
 - ☐ 追加手数料を納付しなかった。
2. ☐ 国際調査機関は、発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。
3. 国際調査機関は、PCT規則13.1、13.2及び13.3に規定する発明の単一性を次のように判断する。

☐ 満足する。

☒ 以下の理由により満足しない。

請求の範囲1-4, 19, 20を「最初に記載されている発明（「主発明」）」として調査を行った結果、主発明の技術的特徴は、先行技術として、文献JP 9-261526 A, 1997. 10. 03に開示されているから、新規でないことが明らかとなった。

したがって、主発明の技術的特徴は、PCT規則13.2の第2文の意味において「特別な技術的特徴」とは認められない。

そして、請求の範囲5-10（第2発明）と上記先行技術とを比較する限りにおいて、第2発明の「(当座の) 特別な技術的特徴」は、「第2の判定ステップ」である。

一方、請求の範囲11-16（第3発明）と上記先行技術とを比較する限りにおいて、第3発明の「(当座の) 特別な技術的特徴」は、「出力画像の画素の位置ごとに、その画素の位置の画素値の推定に用いる前記複数枚の入力画像の画素を特定し、特定された前記複数枚の入力画像の画素の画素値に基づき、前記出力画像の各画素の位置の画素値を推定すること」である。

また、請求の範囲17（第4発明）と上記先行技術とを比較する限りにおいて、第4発明の「(当座の) 特別な技術的特徴」は、「前記第2の露出時間が、被写体の明るさから求められる適正露出時間に基づく閾値以上であるか否かを判定する判定ステップ」である。

さらに、請求の範囲18（第5発明）と上記先行技術とを比較する限りにおいて、第5発明の「(当座の) 特別な技術的特徴」は、「前記第2の露出時間が、前記撮影装置での最速の連続撮影時の撮影間隔に基づく閾値以上であるか否かを判定する判定ステップ」である。

これら第2発明～第5発明の間に、一又は二以上の同一又は対応する特別な技術的特徴を含む技術的な関係が存在するとは認められない。

4. したがって、国際出願の次の部分について、この見解書を作成した。

☐ すべての部分

☒ 請求の範囲 1-16, 19, 20 に関する部分

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	5-16, 19, 20	有
	請求の範囲	1-4	無
進歩性 (IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1-16, 19, 20	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-16, 19, 20	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明

- 文献1 JP 9-261526 A (オリンパス光学工業株式会社)
1997.10.03,
全文全図
- 文献2 JP 2000-69352 A (コニカ株式会社)
2000.03.03,
段落【0021】、【0026】
- 文献3 JP 2863188 B2 (松下電器産業株式会社)
1998.12.11,
第9欄第1-42行
- 文献4 JP 2942359 B2 (マンネスマン・アクチエンゲゼルシャフト)
1999.06.18,
第2欄第26-第4欄第23行
- 文献5 JP 5-167976 A (京セラ株式会社)
1993.07.02,
段落【0009】
- 文献6 JP 2004-234623 A (セイコーエプソン株式会社)
2004.08.19,
段落【0033】、【0035】、【0063】、【0064】、
【0071】-【0075】、【0084】、第3-12, 17, 18図

<<請求の範囲1-4>>

請求の範囲1-4に係る発明は、文献1に記載されているので新規性、進歩性を有しない。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

<<請求の範囲 5-7, 9, 10>>

文献2の段落【0021】には、連写により得られた複数の画像を合成するものにおいて、連写時のシャッタ速度を、手振れ限界値より短く、かつ、画像にノイズが増えない程度の値に設定する発明が記載されている。

また、一般に、露出時間を、測光値と、センサの感度と、所要の信号／ノイズ比と、から決定される最短露出時間や、固体撮像素子の読み出し時間以上に設定する必要があることは技術常識である（例えば、文献3の第9欄第1-42行、文献4の第2欄第26-第4欄第23行、文献5の段落番号【0009】等参照）。

文献1記載の発明に文献2記載の上記発明を採用し、連写時の露出時間を、手振れ限界値より短く、かつ、画像にノイズが増えない程度の値に設定するよう構成することに格別の困難は認められず、その際、上記の技術常識を考慮し、その露出時間が、測光値と、センサの感度と、所要の信号／ノイズ比と、から決定される最短露出時間や、固体撮像素子の読み出し時間以上となるよう構成することは当業者が容易に想到し得たことである。

したがって請求の範囲5-7, 9, 10に係る発明は、進歩性を有しない。

<<請求の範囲 8>>

文献1記載の発明に文献2記載の上記発明及び上記技術常識を採用する際、何らかの理由で、連写時の露出時間を、測光値と、センサの感度と、所要の信号／ノイズ比と、から決定される最短露出時間や、固体撮像素子の読み出し時間以上に設定できなければ、連写を正常に行えないのだから、その際には連写を行わないようにすることは当業者が容易に想到し得たことである。

したがって、請求の範囲8に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 11>>

文献6の特に段落【0033】、【0035】、【0063】、【0064】、【0071】-【0075】、【0084】、第3-12、17、18図には、連写により得られた複数の撮影画像を合成するものにおいて、出力画像の画素位置毎に、その画素位置から所定の距離範囲内に位置する画素を特定し、特定された画素の画素値に基づき、出力画像の画素位置の画素値を推定するよう構成する発明が記載されている。

文献1記載の発明に文献6記載の上記発明を採用することに格別の困難は認められないから、請求の範囲11に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 12>>

文献1の段落【0061】には、1枚目の画像を基準にするのは1例である旨記載されており、また、文献6の段落【0033】、【0035】には、どれを参照フレームとしても良い旨記載されているから、文献1記載の発明において、中間時点近傍の画像を基準とすることは単なる設計事項にすぎない。

したがって、請求の範囲12に係る発明は進歩性を有しない。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

<<請求の範囲 1 3>>

文献 2 の段落【0026】には、連写により得られた複数の撮影画像を合成するものにおいて、複数画像の全て重なった部分をトリミングすることが記載されており、これを文献 1 記載の発明に採用することに格別の困難は認められないから、請求の範囲 1 3 に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 1 4>>

文献 6 の段落【0064】には、出力画像の画素数を任意に設定する構成が記載されており、これを文献 1 記載の発明に採用することに格別の困難は認められないから、請求の範囲 1 4 に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 1 5>>

文献 1 記載の発明において、撮像素子を周知のビニング機能で駆動させるよう構成することは単なる設計事項にすぎないから、請求の範囲 1 5 に係る発明は進歩性を有しない。

<<請求の範囲 1 6>>

一般に、単板式撮像素子から得られた撮影画像をカラー画像に変換して出力する構成は周知であるから、請求の範囲 1 6 に係る発明は進歩性を有しない。